

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 2月 24日

事業所名： ネウボラロッツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童一人当たり3㎡以上の国の設置基準の広さは満たしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準より多い人員で職員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		視覚支援で予定を提示し、見通しを持って安心して生活できるよう工夫している。また活動によって場所を構造化し分かりやすい環境を提供している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々のミーティングや毎月の会議・ケース会議などを実施し職員間で目標設定や振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		実施している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月1回の職員会議の中で何度か研修の機会があったが今年度はコロナの影響で外部の研修に参加する機会が少なかった。	

適切な支援の提供

10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用に際して事前に保護者と面談を行いニーズを把握して個別支援計画を作成しています。	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		新版K式発達検査を活用している。	
12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもの支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を記載している。	
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画の内容を職員に周知し計画に沿った支援を心掛けている。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動内容や案をミーティングで話し合い職員の役割や分担など決定している。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		発達に応じて活動内容を考えたり、季節や行事によっても内容を変化させている。	
16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子どもの状況によって個別な支援が必要な内容を支援計画に記載したり、集団活動で行う目標なども記載している。	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に職員間で打ち合わせをし役割分担など確認している。	
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後にその日の振り返りなどを行っている。	
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動の内容や様子を毎日記録し支援の検証・改善などに繋げている。	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		概ね6か月に1回モニタリングを行い児童発達支援計画の見直しを行っている。	
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		出席出来る場合は管理者や児童発達支援管理責任者など適任者を選んで出席します。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		各市の担当保健師や医療・保育所等との連携を図っています。	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先の地域の保育所やこども園等に保護者の承諾を得て情報提供書を作成したり、移行先の方々に普段の様子を見学に来てもらったりして相互の理解を図っている。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先の小学校や特別支援学校の先生に見学に来ていただいたり、保護者の了解を得て情報提供書を作成している。	
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度はコロナの影響で外部研修の機会が少なかったです。今後可能になれば参加を予定しています。	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			今後検討していきます。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会に参加できる場合は参加しています。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の送迎時に保護者と直接子どもの様子を伝え合ったり、連絡ノートや相談ノートで子どもの状況を伝え合っています。また、個別懇談や発達相談もその都度行っています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者学習会を月に1回予定していましたが、コロナの影響で学習会が中止になりました。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用に際して面談を行う際説明を行っています。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		概ね半年に1回個別懇談を行い児童発達支援計画の内容を説明し保護者の同意を得ています。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者が相談の申し入れがある場合適宜に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会や保護者会は立ち上げていません。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		できるかぎり迅速に対応している。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園だよりや法人だより、献立表、予定表など月に1回発行したり、必要なお知らせがある場合は随時お便りを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員に対して個人情報の取り扱いについて周知したり、保護者に対しても同意書を作成し個人情報の取り扱いには十分注意している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもや保護者に合わせて情報が分かりやすく提供されるように視覚支援など工夫して活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後検討していく。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	防災訓練（火事・地震）に対する訓練は月に1度実施している。	各種マニュアルを作成していたが保護者が確認できる場所に設置していなかったので玄関に保護者閲覧用のファイルを設置した。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	防災訓練（火事・地震）に対する訓練は月に1度実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○	利用に際してアセスメントをした際服薬やてんかん等確認している。年に1回安全連絡先カードに予防接種などの状況も確認してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書にも基づき対応している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリ・ハットを作成し事例があれば職員間で情報を共有し改善策を話合って対応している。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待の研修を職員会議の中で行っている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	やむを得ず身体拘束を行う可能性がある子どもに対しては児童発達支援計画に記載し懇談時どのような状況で身体拘束をする場合があるのか保護者に同意を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。